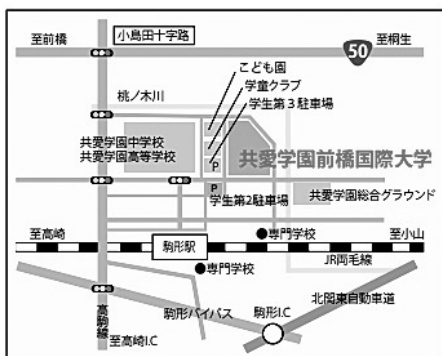


# 時代を超え、生活を支える「鉄」について考える

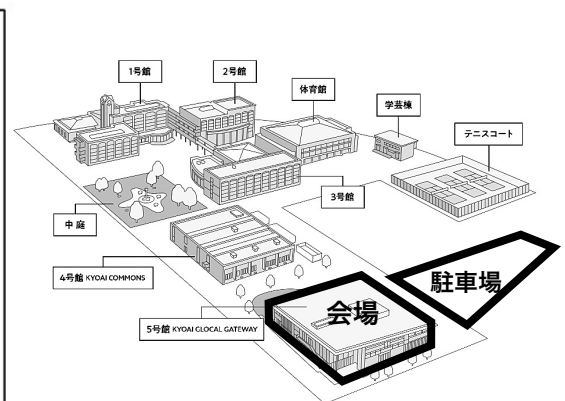
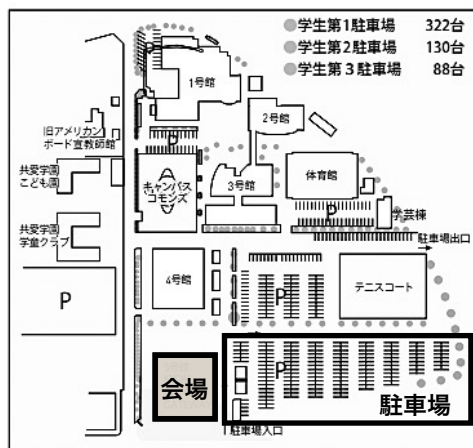
私たちの暮らしに必要な不可欠な生活物資である「塩・鉄・酒」。これらを取り上げ、群馬県地域における実態を知り、その歴史的意義について理解を深める3回シリーズ「ぐんま塩鉄酒論」。

第1回目の生活物資は「鉄」。国内有数の鉄研究者を招き、日本の中近世の鉄を支えた中国地方・東北地方の2つの地域と群馬県地域の鉄生産に関する研究の最前線の情報を発信。

- ◆日時 令和5（2023）年2月25日（土）12:30～17:00（受付12:00～）
- ◆会場 共愛学園前橋国際大学 5号館 5101号教室（群馬県前橋市小屋原町1154-4）
- ◆主催 群馬県地域文化研究協議会 ◆共催 共愛学園前橋国際大学
- ◆後援 群馬県、群馬県教育委員会、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団、群馬歴史民俗研究会、群馬県歴史資料継承ネットワーク
- ◆定員 先着100名（事前予約不要、非会員も参加可） ◆資料代 300円
- ◆内容・日程
  - I 開会 12:30～12:45 開会挨拶・趣旨説明
  - II 研究報告 12:45～15:30（各50分・途中休憩含む）
    - (1)「古代群馬の製鉄」 群馬県地域創生部文化財保護課 笹澤 泰史氏
    - (2)「中国地方における中世製鉄技術の革新と特産地の形成」  
島根県古代文化センター 角田 徳幸氏
    - (3)「東北地方における古代から近世の製鉄」  
公益財団法人福島県文化振興財団 能登谷宣康氏
  - III シンポジウム 15:45～16:55  
「群馬県地域での古代～中近世の鉄の生産と流通」 司会進行 深澤敦仁氏  
パネラー 角田徳幸氏・笹澤泰史氏・能登谷宣康氏（五十音順）
  - IV 閉会 16:55～17:00



- JR両毛線駒形駅北口下車／徒歩10分
- 北関東自動車道駒形IC／車で約10分
- 国道50号線・小島田交差点より／車で約10分
- バス 共愛学園下車／徒歩約5分



※案内図画像は、前橋国際大学HPより引用

◆コロナウイルス感染対策 マスク着用・手指消毒・検温などにご協力ください。今後の感染状況によっては、内容・日程の一部変更や『群馬文化』での誌上開催に切り替えます。これについては2月11日（土）頃に本会ホームページ <https://gunmabunka.org/wp/>）での掲載や関係者への連絡によりお知らせします。

【問い合わせ先】 [gunmabunka@gmail.com](mailto:gunmabunka@gmail.com)